

SSH2期目の指定を受けました。

本校では、**2012年から5年間**、文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けていました。昨年度にその5年間が終了しましたので、**SSH2期目5年間（H29～H33）**の申請をしていました。**3月末に指定決定**の知らせを受けた瞬間、職員室内に**歓声**があがりました。**応募校125校中**、指定されたのは**77校**でした。

本校には、SSHを期待して入学している生徒がたくさんいます。よって「**SSH2期目を取る!**」というのが、昨年度の大きな目標でした。この指定決定は、**教職員全員**の「**汗と涙の結晶**」が実を結んだ結果だと思えます。**SSH2期目**は、本校が更に発展していく「**源泉**」となることでしょう。文科省に提出した**申請書の一部**を紹介します。

◆研究開発課題名 「中高一貫教育を活かした**探究力・論理力**を育成する**カリキュラムの開発**」

◆研究開発の概略

- (1) 目的・目標 目的：新しい時代を生きぬくための力である探究力・論理力を育成する。
 目標：学校設定科目「**理数探究**」を中心としたカリキュラム開発及び地域連携、高大連携による探究力・論理力の育成。
- (2) 研究開発の内容・実施方法・検証評価
- ① 探究力を育成する取組：前期課程の取組と「**理数探究Ⅰ**」で「**研究テーマ設定能力**」を育成し、「**理数探究Ⅱ、Ⅲ**」で「**研究デザイン能力**」を育成する。
 - ② 論理力を育成する取組：前期課程の「**コミュニケーションスキルアップトレーニング**」、後期課程の「**論理国語**」、「**理数探究Ⅱ、Ⅲ**」により論理力を育成する。
- 検証評価：**デジタルポートフォリオ評価**など適切な評価法の検証を行う。

茨城県立並木中等教育学校
スーパーサイエンスハイスクール概念図

新しい時代を生きぬく力の育成

中高一貫教育を活かした
探究力・論理力の育成

SS理数科目
数理科学A・B

- クロスカリキュラム
- 出前講義
- アクティブ・ラーニング
- 課題解決型実験観察授業

前期課程と後期課程の指導内容の系統化

6年生
理数探究Ⅲ
協働による研究論文の推敲
探究の道のりを下級生に還元

5年生
理数探究Ⅱ
研究展開（実験・調査）
研究論文作成

4年生
理数探究Ⅰ
テーマ設定
論理国語
ロジカルトレーニング

前期課程
3年次 ミニ研究（個人研究）
2年次 グループ研究（先輩研究の追体験）
1年次 ミニレポート（調べ学習から課題発表へ）

コミュニケーションスキルアップトレーニング（CSトレーニング）

探究力 論理力

◆4月4日（火）午前中には、全教員でSSH等に関する**研修会**を実施しました。